

写真・英国文化…地元の知恵共に

「いちのみや大学」開講

一宮市民有志による市民講座「いちのみや大学」が開講



した。様々な知識や技術を持つ市民を講師に招き、テーマにふさわしい場所で話を聞く。29日にあった第1回講座は、昨年10年ぶりに再開したギャラリー併設レストラン「織部亭」を会場に、経営者の大島誠二さん(56)が話をした。写真。

た。大島さんは当時を回想しながら、約20人の聴講者を前に「この店で培った作家たちとの関係が闘病生活の支えになった」などと語った。

講座を運営するのは、国際協力関係の人材育成や書籍出版をしている有限会社「人の森」の野田直人さん(51)とスタッフたち。中南米やアフリカでの生活が長かった野田さんは「どこでも人間に必要なのは豊かな人間関係。だれでも気軽に参加して、知り合いを増やしてほしい」と話した。

85年に開店した「織部亭」は一宮における現代アートの発信地だった。97年に病氣療養のため店を閉めるまで大島さんは、画廊を借りる資金がない若手作家たちに発表の場を提供し、創作活動を応援し

新進写真家による「デジタルカメラの上手な使い方」、酒好きのイギリス人英会話教師による「英国のパブ文化」など、月に2回程度開いていく。問い合わせは、事務局(0586・72・5445)へ。